

事務事業名	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	所属部	市民環境部	所属課	市民生活課				
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉支えあい健やかに暮らせるまち〈保健・医療・福祉〉	所属G	生活グループ	課長名	宇田川 康司			
	施策名	〈25〉子育て支援の充実	担当者名	今岡 博美	電話番号	0854-40-1031 (内線) 2122			
	目的	対 象 A)子どもの保護者と産み育てたい夫婦 B)乳幼児・児童・生徒(0～18歳)	意 図	A)安心して子育てができる。 B)心身ともに健やかに育つ。	会計	款	大事業	大事業	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業
	基本事業	〈073〉経済的支援の充実	予算科目	0:1:1:5:1:4	中事業	中事業	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業		
目的	対 象 保護者等	意 図	子育てに係る経済的負担が軽減される。	項目	1:0:0:5:0:1:2	中事業	中事業	令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金給付事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
子育て世帯	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援する。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( R3 年度～ R4 年度 )	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援する観点から、高校生までの子どもがいる世帯に対し、児童一人当たり10万円を支給する。 1、支給対象児童 ①令和3年9月分の児童手当支給対象児童 ②令和3年9月30日時点で高校生等の児童 ③令和4年3月31日までに生まれた児童手当の支給対象児童 2、支給対象者 ①～③の児童の保護者のうち生計を維持する頻度の高い者。(特例給付を除く)
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
子育て世帯への臨時特別給付金の支給	特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 支給世帯	世帯			2,719	59
イ 支給児童	人			5,030	59
ウ 給付額	千円			503,000	5,900
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)		② コストの推移		単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)
事業費計	505,710千円	財源内訳	国庫支出金	千円			476,733	6,000
消耗品費	199千円		県支出金	千円				
印刷製本費	131千円		地方債	千円				
通信運搬費	529千円		その他	千円				
手数料	301千円		一般財源	千円			28,977	
委託料	1,550千円		事業費計	千円		0	0	505,710
扶助費	503,000千円							

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、その影響により苦しんでいる子育て世帯を支援することができた。
② 事業実施するうえでの課題	給付金支給後に離婚等で元受給者から実際に児童を養育している保護者へ給付金が渡されない場合があり、問題となった。
③ 課題解決に向けた改革改善等	国により、上記のような場合申請により給付金を受け取ることでできる制度が創設された。